



Aさん(横地分類A1)は、リビング全体の音や声を良く聞いています。リビングで過ごすグループでは周囲で行われていることが見聞きしやすい場所です。朝、職員が居室前の廊下を通るとAさんは足音や声に気付いて耳を澄まして聞いていました。足音が遠ざかっていくと手に持っていた楽しみ素材を揺らし始め、手元の自分で鳴らす音を聞いていました。少しすると職員がAさんのところに来ました。側で声をかけられると、手にしていた楽しみ素

すばるの  
昼間のリビング  
渥美 友香理

材を揺らすのをやめて職員のように顔を向けて笑顔になりました。車椅子に乗り、日中過ごすリビングに移動すると周りの移動している声や音を聞いていました。そのうちに昼間Aさんの隣で過ごしているBさん(横地分類A2)がリビングへ移動してくると、Aさんは自分の近くにきたBさんをじっと見ていました。職員とのやりとりでBさんが声をあげて笑うと、それを聞いていたAさんも笑いだしました。楽しそうな雰囲気を感じているようでした。しばらくすると、廊下に繋がる扉が「カチャツ」と開く音がしました。Aさんは音に気付いて目を大きく開いてハッとしました。表情になりました。その扉からショートステイ利用者や家族が入ってくると、Aさんは近づいてくる物音や足音にじっと耳を澄まして聞いていました。ショートステイ利用者のご家族が帰りがけにAさんの側に行き声をかけました。はじめは自分のところに来たことに驚いたようで目を大きくしていましたが、声をかけられるとAさんは表情を緩ませて、声を出していました。

## クリスマス礼拝

2018年12月24日(月・祝)に、クリスマス礼拝が行われました。佐藤チャプレンによる新約聖書の朗読が行われ、入所者・ご家族・職員も一緒にクリスマスをお祝いしました。厳かな時間を過ごし温かい心のつながりを感じました。



## 日常活動報告会

12月24日(月)、クリスマス礼拝の終了後に日常活動報告会を開催しました。49家族75名にご参加いただきました。

日常活動報告会は、利用者の日々の生活の様子についてご家族に知っていただくことを目的としています。各ゾーン毎に担当職員より利用者個々の日常活動の様子について、ビデオ映像や実際に活動している素材をお見せしながらご家族に報告しました。

これからも職員一同、利用者の生活の質の向上に取り組んでまいります。

